

氏名	山 中 慶 人
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 4 3 1 号
学位授与の日付	昭和45年 6 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	ベクトル心電図(Frank法)に関する研究 第1編：高血圧症のベクトル心電図 第2編：高血圧症の治療とベクトル心電図の変化
論文審査委員	教授 大 藤 真 教授 平 木 潔 教授 中 山 沃

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

第一編では高血圧症のベクトル心電図(Frank法)を分析し検討した。最大QRSベクトルは平均血圧の上昇と共に大となり、最大Tベクトルは小となった。また最大QRSベクトルの方向は平均血圧上昇に伴って左後方に位置し、最大Tベクトルはより前方に位置した。空間的QRS-T夾角は高血圧群で明らかに開大したが、高血圧群における平均血圧上昇の影響は明らかでなかった。さらに平均血圧上昇に伴い水平面で丸いT環を示すもの及び反時計方向回転のT環が増加した。

第2編では高血圧症の治療とベクトル心電図の変化を検討した。降圧剤治療後、血圧下降によって水平面最大Tベクトル及び空間最大Tベクトルの大きさの増大がみられて、空間最大QRSベクトルとTベクトルの比は治療後減少した。最大Tベクトルは血圧下降後、左後下方へ移動し、空間平均QRS-T夾角は狭くなった。T環の形は丸いものが治療後細長くなる傾向を認めた。

(岡山医学会雑誌 第82巻1, 2号 昭和45年4月掲載)

論文審査の結果の要旨

本研究は、高血圧者のベクトル心電図(Frank法)を分析検討したものであるが、血圧上昇に伴うベクトル心電図学上の新知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。